

自主防災組織の編成及び役割分担例(例)

◎組織編成の考え方
 自主防災組織を結成し、活動を停滞なく進めるためには、組織を取りまとめる会長(本部長)を置き、会長のもとに副会長(防災部長)ほか自主防災活動に参加する構成員一人ひとりの役割分担を決め、組織を編成する必要がある。
 編成に当たっては、まず活動班を編成し、活動班ごとも班長(指揮者)を定め、班編成も町内会・自治会の規模や地域の実情によって異なるため、まずは地域に必要な最低限の班編成から徐々に編成を充実させることも必要である。

本 部	会 長(本部長) 副会長(防災部長) 副会長(防災副部長) 各班長(指揮者) 会計 監査
--------	---

- 組織の規約と防災計画の作成
- 活動方針の企画
- 市、消防・警察等の防災関係機関との調整
- 近隣の医療・福祉施設等との協力調整

※本部の役割は、組織の活性化を図ることを基本とする。

※各班の構成は、隣近所で協力し合える人数を基本とする。

編成班名		平常時の活動	災害時の活動
総務班	班 長	班 員 ○本部と各班相互の調整 ○要援護者の把握 ○近隣組織、事業所等との連携、他機関との事前調整	班 員 ○全体の指揮・調整 ○被害・避難状況の全体把握 ○防災機関等との連絡調整 ○近隣組織、他機関との連携調整
情報班	班 長	班 員 ○防災に関する知識の普及・広報 ○防災マップの作成 ○講習会等の企画 ○情報の収集・伝達訓練の実施	班 員 ○災害情報の収集・伝達 ○被害状況の把握 ○防災機関等への災害状況の通報 ○避難勧告・指示の伝達
消火班	班 長	班 員 ○火気使用器具、石油類の管理状況等の点検広報 ○消火用器材の準備と管理 ○消火訓練の実施	班 員 ○初期消火活動 ○近隣事業所、組織との連携による消火 ○地震直後、避難時の出火防止の呼びかけ
救出・救護班	班 長	班 員 ○救出・救護にかかる知識の習得と普及 ○防災マップの危険箇所の現状確認 ○救出・救護資器材の準備と管理 ○救出・救護訓練の実施	班 員 ○負傷者、逃げ遅れ等の把握 ○応急救出・救護活動 ○負傷者等の近隣医療機関への搬送 ○救急隊、医療関係者への協力
避難誘導班	班 長	班 員 ○避難路・避難場所の周知と現状把握 ○要援護者の把握と協力体制づくり ○避難誘導用資器材の準備と管理 ○避難誘導訓練の実施	班 員 ○安全な避難路・避難場所の指示 ○早めの避難行動を促すための説得 ○要援護者の避難支援 ○避難場所等での混乱防止
給食・給水班	班 長	班 員 ○給食・給水資器材の準備と管理 ○給水拠点・防災井戸の把握 ○応急炊き出し・給水訓練の実施	班 員 ○給食物資等の配布と管理 ○行政、ボランティア団体等との連絡調整 ○炊き出し等の給食・給水活動
○○班	班 長	○その他、地域の実情に応じ必要となる班例例えば、水害のおそれがある地区では水防班、地すべりや土砂崩れ危険区域では安全点検班を設けるなど、その役割を果たすために必要な平常時の活動及び災害時の活動を定める。	